

旅に出て

大森 海太

今年も孫たちが夏休みに入り、ジジババは解放されて旅に出た。

先ずは四国松山へ。飛行機苦手のばーばにあわせて新幹線で岡山まで、3割引きのジパング倶楽部はのぞみがダメ、ひかりで4時間。

予讃線特急に乗り換えて瀬戸大橋から海を見ながら松山まで3時間、合計7時間の汽車の旅だ。

夜はイッパイ飲ろうと街にでたものの、市内随一の繁華街大街道は昔に比べてイマイチ活気に乏しい。シャッターを下ろしたままの店もある。松山には以前叔父が住んでいたので度々訪れたが、今よりもっと賑やかだった。

タクシーの運ちゃんによれば人口が少しづつ減っており、若い連中は大阪や東京に出てしまうとのこと。

その東京では人間が集中してマンション価格が高騰し、二十坪たらずの狭い地面にペンシル住宅と称する3階建てが乱立。都心では今も超高層オフィスビルが建設中。ふるさと創生とやらはどーなってるんだ、と言いたくなる。

次の日は市電に乗って道後に出かけ砥部焼の湯飲みを買ったり、午後は松山城に登ったりして、のんびり過ごした。

三日目は市内から伊予鉄高速バスに乗り、今治から来島海峡を渡ってしまなみ海道に入り、島伝いに尾道へと向かう。

このルートは十年前友達二人と自転車ツーリングしたことがあるし、現役時代には因島や伯方島の造船所を訪問したり、懐かしい島々が続く美しい眺めだ。

ところが近くの席の若い男女は、終始スマホに没頭して窓外の景色を見ようともしない。なんのために旅をしているのか理解に苦しむ。

福山で新幹線に乗り換えて新神戸に至り、夜は三宮のホテルに泊まる。

翌日チェックアウトしたあと時間があつたので、新神戸駅のそばにある布引ハーブ園のロープウェイに乗ってみた。思った以上の迫力でぐんぐん上り標高四百米の山頂に達すると、展望台から神戸港やポートアイランドが一望のもとに見渡せる。

テラスには食事やワインのコーナーがあつて、夏は夜9時までOKとか。機会があつたらぜひ試してみたい。